

高原のみなさんへ

いのちを大事にする政治を

しまぶく恵祐 3つの決意

20歳で命を奪われた兄・英吉の分まで しっかり生きていきます

私たち家族が、兄の死因を国へ求めたとき、調査報告書の兄の名前まで「黒塗り」でした。

私は兄の死をきっかけに、命とは何か、人権とは何かを強く考えるようになりました。

「命どう宝」——一人一人のいのちを大事にすることこそ、私がめざす政治です。

20歳の若さで命を奪われた、双子の兄の分まで、精一杯生きてがんばります。



●兄・英吉の絶筆の書「命どう宝」



●写真左が兄・英吉、右が恵祐



●県議補選のとき、高原交差点前で

翁長雄志さんの遺志をひきつぎ 新基地建設は許さない

私は28歳のとき、県議補選に挑みました。知事候補だったのが翁長雄志(写真)さんでした。

「知事や一部の政治家はブレたけど、県民の総意はブレない。保守も革新もない。あらゆる手段を駆使して、新基地建設をくい止

めたい」——翁長さんの言葉は忘れません。

人殺しの基地はいらない。民意を無視して、辺野古工事を強行する安倍政治は変えたい。

私は、「オール沖縄」でデニー知事をしっかり支えます。

人助けの嘉陽県議の仕事を受け継ぎ 高原に無料相談所を開設

私は、嘉陽宗儀県議のあとつぎとして県政に挑みます。

嘉陽県議は、お金のあるなしに関係なく、困っている人、悩んでいる人の苦しみの解決へ、無料相談を43年間続けました。

「こんどは誰か困っている人がいたら、私が助ける側に回りたい」——私もその活動を引き継ぎ、高原に無料相談所を開設しました。困りごとなどありましたら、遠慮なくご相談ください。



県議 嘉陽宗儀

これまでのご支援に感謝します。私が信頼し推せんするしまぶくさんを県政に送ってください。

一人で悩まず、お気軽にご相談ください
電話098-989-3247 高原5-1-1島田ビル1F 101号

